

2016.4.1 第1171号  
ISSN 0913-0217

発行人／長 瀬 清  
発行所／北海道医師会  
〒060-8627  
札幌市中央区大通西6丁目  
TEL(011)231-1432  
FAX(011)221-5070

# 北海道医報

2016

4  
月号



北海道 美の遺産

北岡 文雄

ライラックの季節

北海道立近代美術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
平成28年4月1日 第1171号

指標／超高齢社会を迎えてー平成28年度事業計画ー	長瀬 清	3
北海道医師会公示・告示		8
医の倫理綱領		10
書籍紹介	深澤 雅則	11
生涯教育シリーズXXI／脾嚢胞性病変に対する診療のストラテジー	丹野 誠志	12
報告／医師の就労環境づくりを支援する事業周知のための臨床研修指定病院訪問	藤井 美穂	16
日本医師会綱領		21
報告／平成27年度病院管理研修会	伊藤 利道	22
報告／平成27年度北海道病院団体懇談会	伊藤 利道	24
学会報告／第2回日本医療安全学会学術総会	水谷 匡宏	26
投稿／第21回日本集団災害医学会総会・学術集会報告	浅井 康文	28
最新・医事紛争Q&A／X線撮影室での転倒	黒木 俊郎、加畑 裕一朗	30
税務相談室／消費税と固定資産税	中村 孝一	32
会員のひろば	塩川 哲男、奥野 晃正、山口 智也	
金谷 美加、藤井 瑞恵、柳内 聖香、西尾千恵子、児玉 広幸、後藤田 裕子		
岡田 昭人、田村 正、森谷 満、野村 達史、大久保隆夫、山下 啓子		
濱松 千秋、河原崎 暢、土肥 修司、水関 清、野田 泰嗣、菊地 誠志		34
ポラリスを仰ぐ北の大地から	田中 実、工藤 康生	50
大通公園を望む窓辺から	藤井 美穂、千葉 茂	51
医学会・医学講演会等 開催情報		52
中央 52 道南 55 後志 55 日胆 55 空知 56 道北 56 北見 57 道東 58		
日医認定産業医制度研修会開催一覧		60
日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧		61
訃報		62
新規指定医療機関		62
道医の動き		63
会議室／第23・24回常任理事会、第7回理事会		64
売貸医院・医師招聘情報		72
道医師国保の頁		76
コーヒープレイクMedico's Column		84
季節風／北海道新幹線開通と文学作品の舞台	橋本 洋一	86

## お知らせ

看護師等免許保持者の届出制度に係るリーフレットの周知<sup>9</sup>／平成28年度糖尿病等生活習慣病予防のための人材育成研修会<sup>20</sup>／ー生命保険「団体扱い」のお奨めー<sup>23</sup>  
 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の施行<sup>25</sup>／女性医師等支援事業を推進しています。<sup>26</sup>／日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』<sup>27</sup>／北海道医師会 育児サポート事業のご案内<sup>29</sup>／厚生労働省「高齢者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)」の支給促進に係るチラシ・ポスターの設置および掲示等(協力依頼)<sup>33</sup>／「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼<sup>33</sup>／「日本医師会生涯教育講座」と「北海道医師会認定生涯教育講座」に関する実施要領の変更(第一報)<sup>59</sup>／ストレスチェック制度サポートダイヤルおよびQ&Aのご案内<sup>61</sup>／北海道医師会サポートセンターのご利用<sup>61</sup>  
 医療機器・再生医療等製品の不具合等報告の症例の公表および活用についてのご案内<sup>75</sup>  
 グループ保険のご案内<sup>85</sup>

北海道医師会会員数	8,289名 (+23)	うち日本医師会会員数	5,877名 (+19)		
A	2,476名 (±0)	B2	4,592名 (+20)	C2	149名 (±0)
B1	601名 (+5)	C1	109名 (±0)	C3	362名 (-2)

平成28年2月29日現在 ( ) 内前月比

## 作品紹介

### きたおか ふみお 北岡 文雄 ライラックの季節

1918(大正7)年~2007(平成19)年  
東京都生まれ。  
1986(昭和61)年の作品。油彩・キャンバス(40.1×54.6cm)。

東京美術学校(現東京芸術大学)の油彩学科に入学し、在学中に創作版画の先駆者・平塚運一と出会う。同校の臨時版画教室で木版画の勉強をはじめ、在学中から日本版画協会に出品、1943年には同会会員となった。

戦後は、恩地孝四郎の主催する「一木会」で版画の研究に

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立近代美術館  
(札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881)

取り組む一方、サンパウロ・ビエンナーレなどの国際展にも出品を重ね、1955年にフランスへ渡った。

帰国後、妻の実家がある札幌に一時滞在。札幌版画協会の設立に尽力するなど、本道と深いゆかりをもった。

1970年前後から日本各地の風景をテーマに、数多くの版画を制作する。写実性と装飾性を織り交ぜ、風土感を強く漂わせる作品を手がけた。

色味豊かなライラックが主役に見える一方、白い小道の先で、仲むつまじく歩く男女の姿に気がつく、写実的な景色がより鮮やかさを増し、人の温かみを帯びた風景画となる。